

昭和医科大学（旗の台キャンパス）

学生相談室だより No.126 (2025 年度 2～3 月号)



「道の曲がり角」

昨年末、3号館で「お屠蘇に使われる生薬の展示」がありました。さらに、「それぞれの生薬を自分の好みで配合して“オリジナルのお屠蘇”が作れる」とのこと。お屠蘇というと、「年の瀬に薬局のレジ横に売っている」、「苦い」イメージでした。「行ってみたい!」と心が踊りました。ところが時間に追われ展示コーナーに行けません。「今日はやっと行ける」と思えば、棟を間違える…。年内最終日、どうにか3号館の展示コーナーに辿り着きました。「お屠蘇の中身を初めて見た」、「サフランって生薬だったんだ」と楽しみ、喜んでお茶パックに生薬を詰めて帰りました。10分程度の短い時間とはいえ、師走の張りつめた中、ほっとするひと時でした。お正月には初めてお屠蘇を作りました。手作りのお屠蘇は甘くて香り高いものでした。味は養命酒に似ています。日が経つとまろやかになることも興味深かったです。展示コーナーに辿り着くのに思いのほか回り道をしましたが、喜びはひとしおでした。

悲しい事や辛いこと、上手くいかなくて苦しい事は多くの人に日々訪れます。「いつかは乗り越えられる」と頭で知っていても、いつまでも続くような気がするかもしれません。そんな時には、「誰かに話してみる」、「小さな楽しみを見出す」、「一息つく」など「まっすぐ突き進む」以外の方法があることを思い出していただければと思います。モンゴメリ作「赤毛のアン」に『今、その道は、曲がり角に来たのよ。(中略)』



発行日：2026 年 2 月 1 日

発行者：昭和医科大学学生課 TEL 03-3784-8024

学生相談室 TEL 03-3784-8285

曲がった先に、道はどう続いていくのかしら』という一節があります。一見回り道や無駄をしたように見えても、悩み、普段見ない自分の心の中を覗き見ることで、急いでいては見えない景色に気が付けるかもしれません。夢、カウンセリング、いつも通らない小道に迷い込むなど、目立たないものですが何かに気づききっかけになることがあります。皆さんが自分らしさを大切に、毎日を擦り切らせないために、「こんなことで話に行っているのかな」と遠慮せずに、気軽に学生相談室でお話にきてくださいね。

引用：モンゴメリ著 松本侑子新訳「赤毛のアン」(文春文庫)

★春休み中も学生相談室は開室しています。

★オンライン（Google Meet）でも相談できます。

★休学中でも利用できます。



(大河原)

2 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3 月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				